



しろね図書館だより

No.150

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

shirone.cl@city.niigata.lg.jp

平成24年11月発行

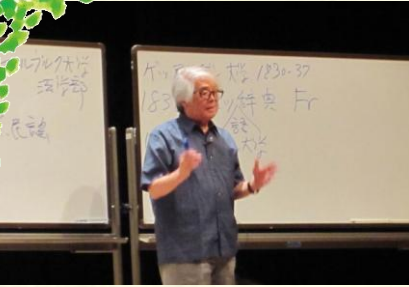
くらしのなかに図書館を

小澤俊夫氏 文化講演会

演題『グリム童話集 200歳』

10月11日(木)19時開演となった文化講演会には、191名の方が集まってくれました。

会場は、小澤さんが語るグリムの世界で包まれ、昔話に魅了されました。



参加者からのあたたかい声です。

『語りかけるような講座で、子どもたちの成長を願ったお話、大変良かったです。』

(60代女性)

『未来の子どもたちへの大切なメッセージを深く受けとり、リレーしていきたいとおもいました。』

(40代女性)

開催報告①



秋の 読書週間



今年はちょっと早めに白根図書館では読書週間行事がスタートしました。

この期間は、特に学校への出前おはなし会、定例のおはなしのじかん、そして館内の展示でたくさんのお本とみなさんが出合えるように取り組んでいます。

小澤俊夫さんの講演会から昔話の世界へ



ハロウィンのミニ展示

ホントノキズナ
2012・第66回
読書週間
10/27~11/9

開催報告②

白根図書館まつり

10月20日(土)、白根学習館ラズベックホールにて白根図書館まつりを開催しました。

13時の開場を待ってくださる方、じっくりと絵本を楽しんだり、各コーナーそれぞれが盛り上がる1日となりました。

しろね図書館友の会で行われた古本市では、14,900円の売上がありました。この売上はすべて募金させていただきます。



読み聞かせコーナー

南区の読み聞かせボランティアさん4グループに参加いただきました。



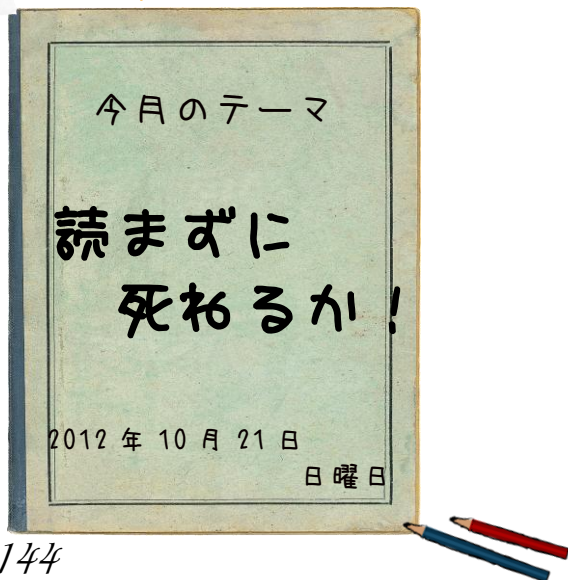
工作コーナー



参加者記念撮影



10月の読書会



No. 144

今まで選んできた本は、“絶対読まなければ”
 というような本でした。今回は、長い間、読みたい！
 と思っていながら、なかなか読めないでいる本を選んでみましょう。

『悪魔の辞典』 ビアス著 岩波書店
 「読みたい」というより「読めるような人間になりたい」と思っている。何度か途中で投げ出してしまってきた。言葉通りには受け取れない表現が多い。その真意を知るために、人生経験を積んで、また再度チャレンジしたい。

『聖書』 日本聖書協会ほか
 キリスト教というより、世界宗教に興味を持ったのは、とある映画。内容で理解できなところがあった。中国・韓国などは儒教をベースにしているのでわかりやすい。聖書を読むことで異なる文化圏の人々の背景を理解したい。

『太宰治全集』 筑摩書房ほか
 小学校の劇でメロス役に選ばれたことがきっかけで太宰を知った。嘘を上手に語る。特に書き出しに惹かれる。同じ無頼派と括られても、安吾とはずい分違う。しばらく遠ざかっていたのだが、生誕100年のときに、書店に文庫が多く並んでいたのをきっかけにまた手にとった。「かちかち山」のような加工された作品が好き。

『正法眼蔵』 岩波書店ほか
 主に曹洞宗開祖道元が著したとされる禅思想書で、ハイデガーや西田幾多郎にも参照された。1回読んだが難しく、さっぱりわからない。2行だけ、3行だけでも読んでみる。矛盾を分析せずにそのままで受け取ってみる。

『失われた時を求めて』 プルースト著 筑摩書房ほか
 まだ1巻しか読めていない。話の筋は知っているが、1つの場面だけで150ページも費やすほどで、長大な作品。1巻にはこの本を書いた動機・理由が書かれていて、最終巻まで読むと、最初に戻ってくる仕掛けになっている。モダニズム文学を代表する小説として、ジョイス『ユリシーズ』とともに語られる本。

『古事記』 岩波書店ほか
 2012年は古事記が編纂されて1300年目にあたるとされる。竹田恒康氏の話聞いて興味を持った。だいたいの流れはわかるが、いつかきちんと読もうと思う。

次回の読書会

11月18日(日)午後2時～

11月の読書会のテーマ

「読んでから見るか、
 見てから読むか」

映画化・演劇化された原作本や、アニメ・テレビ番組とのメディアミックス小説、有名なあの絵画にまつわるノンフィクション……などなど、視覚メディアとの関係が深い作品について語りあいます。

会場 白根学習館ルーム2

申込みはいりません。
 気軽に本のお話をしましょう。
 おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。
 しろね図書館友の会共催

その他に紹介された本
 『断腸亭日乗』
 (永井荷風著)
 『大菩薩峠』
 (中里介山著) など

参加者 4名



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする午後のお茶会のような集まりです





『知の分類史』

久我勝利 著
中央公論新社 2007



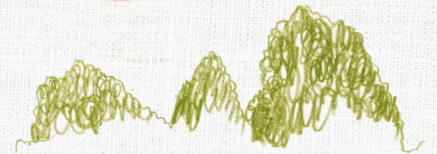
☒ 書館の棚を眺めると様々な本が置いてあるわけですが、その背の下の方には必ずラベルが貼ってあり数字が書かれています。例えば、ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』であれば“983ド”というように。この数字はそれぞれ「類」「網」「目」というカテゴリを、カタカナは「著者（または主題など）の頭文字」を表わします。この場合だと「9XX=文学」「98X=ロシア・ソビエト文学」「983=ロシア・ソビエト文学（小説、物語）」「ドストエフスキーのド」という意味になります（本当はより下位の区分がありますが、ここでは第三次区分までを紹介しています）。

この番号の部分は「日本十進分類法」というものに依拠しており、日本の公共図書館のほとんどで採用されています。初版が編纂されたのは1929年ごろのことになります。つまり、それまでは違う分類法が使用されていたわけです。当時、事実上の標準となるような分類法を日本の図書館は持っていませんでした。そこでアメリカの「デューイ十進分類法」や「展開分類法」を参考にして、日本の環境に適した分類法を森清という方が考案したのが始まりとなります。

というような近代日本における図書分類法の起源の話だけでなく、この本には「博物学」「百科事典」「図書分類」を主な参照の柱として、様々な分類の歴史が紹介されていきます。「913は日本の小説」や「脊椎動物／無脊椎動物」といった分類は背景を知らずには理解できませんが、中には「いましがた壺をこわしたもの」「統合された個性の物理学」といった、一見何やらわからない分類もあります。パソコンのファイル整理や机の整頓の役に……、立つかはわかりませんが、百科事典を眺めたりするのが好きな方にはおすすめかもしれません。



ぬくぬく



さむがりのようかい ぬくぬくは、からだにわらをまきつけ「ぬくぬく、ぬくぬく」とつぶやきながら山の中をあるきまわった。山かじがいつのまにかきえるのは、ぬくぬくが火をたべてしまうからだとか。山にゆきがふりはじめると、ぬくぬくはこっそりふもとにおりてきて、ちかくを人がとおりかかるとすがたをあらわし、「ぬくぬく、ぬくぬく」とからだをすりよせてくる。そのきもちのわるいこと。ぬくぬくにであった人たちは、いえににげかえってもふるえがとまらず、三日はねこんでしまうのがつねだった。「ぬくぬく、ぬくぬく」とうなされて。ところが、ある日、女の子とであうと……

あさ夕、すっかりさむくなってきました。みんなでからだをすりよせて、「ぬくぬく、ぬくぬく」とつぶやいてみませんか。（安東）



天野 祐吉／作 梶山 俊夫／画
福音館書店 2009

さようなら ありがとう Book Bus コーナー

「さようならブックバス」展示 —ご協力ありがとうございました—

ブックバスが運行している南区の10小学校から協力いただき、写真と子どもたちのメッセージ200枚を学習館ロビーに展示いたしました。

子どもたちが元気いっぱいブックバスを利用している写真や、一文字一文字丁寧に書いてくれたメッセージを、多くの方が立ちどまって見ていかれました。

これからも
楽しい本との出会いが
ありますように。



ブックバスがスタートした13年前と新潟市の学校図書館は大きく変わりました。質、量ともに蔵書が充実。電算化が導入され本の貸出返却や検索がとて便利になりました。どの学校にも専任の司書が配置され、先生方と一緒に活発に図書館活動をすすめていらっしゃいます。

ブックバスは25年3月で終了しますが、これからも小中学校と白根図書館のつながりを大切に、団体貸出やレファレンス、出前おはなし会など、学校へのサービス、支援を精一杯やっていきます。

さようなら展示 子供たちのメッセージから

「かりられなくなると さびしいな

ぶっくばすさん げんきでね」 (1年 男児)

「わたしは まいかい ブックバスで本をかりていました。おかげで 本がすきになりました。今は、毎日学校の本をかりています。本をすきにさせてくれてありがとうございました。」 (2年 女児)

今月の展示架 11/8~12/4 「家のかたち」



えほんやお話の中で出てくる家、世界各地の色々な家、どこか懐かしい昭和の家。

それぞれの家の中で、人はどう暮らし、何を考えてきたのでしょうか？ 安心、喜び、悲しみ、自立心、息苦しさ…。さまざまに思いがめぐります。



12/5までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10~
ストーリーテリング 14:30~

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

11/10(創作活動室2) 10:00~
11/24(ルム2) 10:00~

11月17日(土)
13:30~15:30

読み聞かせ講習会②(ルム2)

11月18日(日)

読書会(ルム2) 14:00~

11月24日(土)
10:00~12:00

読み聞かせ講習会③(ルム2)

12月5日(水)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

白根図書館休館日
毎週金曜日と毎月第1水曜日

11/9(金) 11/16(金) 11/23(金) 11/30(金) 12/5(水)

10月の来館者数……… 13,931 人

11月のブックバス

- ★11月の予定を載せています。
- ★冬季(12、1、2月)はお休みします。3月にまたお会いしましょう。



コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	13:00~13:25	11/5 11/19
火A	白根小学校	13:10~13:30	11/6 11/20
水A	白井小学校	13:00~13:30	11/7 11/21
木A	新飯田小学校	10:15~10:35	11/8 11/22
	味方小学校	13:10~13:35	11/8 11/22
月B	根岸小学校	児童限定	11/12 11/26
火B	小林小学校	児童限定	11/13 11/27
	大通小学校	13:00~13:30	11/13 11/27
木B	茨萚根小学校	10:15~10:35	11/1 11/15 11/29
	大鷲小学校	児童限定	11/1 11/15 11/28

※ブックバスでお使いのカードで、新潟市の図書館を利用できます。新潟市全域のいろいろな所に図書館がありますよ。どうぞ、ご利用ください。